



大阪府高等学校
生物教育研究会

協力会だより

令和3(2021)年9月10日

第25号

ごあいさつ

大阪府高等学校生物教育研究会協力会

会長 大島 みどり

協会会員のみなさま、ご無沙汰しております。如何お過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス肺炎の緊急事態宣言下のように日々お過ごしでしょうか？

なにかと閉塞感を感じていらっしゃるのではないかと拝察いたします。

そんな中で、元気の出る情報をお伝えさせていただきます。

令和3年度春の叙勲で、福坂邦男先生と萱村善彦先生が瑞宝小綬章を受勲されました。ここにご報告し、心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

さて、この所、話題はどうしても COVID-19 の話になります。

以前も、生物教員・私たち OB・OG が正確な情報を伝える役割を担うということを書かせていただきましたが、やはりどんどん怪しい話が広がっています。頑張っただけ正確な情報を伝えていきましょう。

また、今年度の総会は、研究会総会とともに、ZOOMによるインターネット会議でした。主催者のご配慮で、大島もなんとか参加指させて顶けましたが、ドキドキものでした。

協会の皆様はすでに2回目のワクチン接種を終えていらっしゃるかと存じますが、ブレークスルー感染の危険性もあり、まだまだ気の抜けない状況が続いています。

いつになったら「普通の日々」を取り戻すことができるのか、甚だ心許無い気も致しますが、是非、サバイバーとして総会でお会いできる日を楽しみにしております。

元気でお会いしましょう！！

6月11日(金)に研究会・協会の総会が行われました

大島会長のご挨拶にもありましたように、研究会と協会の総会がオンラインで行われました。研究会の議事ののち、記念講演として、文部科学省初等中等教育局視学官の藤枝秀樹先生から「これからの高校生物教育を考える～授業改善を図るために～」と題したご講演をいただきました。文部科学省はテレワーク推奨ということもあり、藤枝先生にはご自宅からオンラインでご講演いただくという、ふだんでは考えられない形での講演会となりました。来年度から高校に導入される新課程についてのお話のほか、その新課程で導入される評価法の改革なども含めて、お話しいただけたと理解しております。

その後、協会の総会として、会務や会計の報告と予算の話をしていただきました。コロナ下でなかなか対面の活動もできない中で、昨年度は研究会への助成と「協力会だより」の発行のみの活動になってしまったことおよび、今年度も同様な状況が懸念されることが報告されました。昨年度の会計報告につきましては、次ページに報告させていただきます。来年度は、ぜひ懇親会の開催など、2023年の生物教育会全国大会(大阪大会にも向けて)+αの活動ができますことを願っております。

2020 年度会計報告					
収入の部			支出の部		
前年度繰越金	265,633	円	たより・会誌郵送料	15,576	円
会費・寄付金	146,000	円	研究会への補助金	100,000	円
雑収入	0	円	会費振込手数料	5,982	円
収入合計	411,633	円	支出合計	121,558	円
			差引残高 290,075 円		
これを次年度に繰り越します。					
2021 年 5 月 15 日 会計担当 中井 一郎					
監査の結果、適正に処理されていたことを確認しました					
2020 年 6 月 11 日 会計監査 橋 淳治					



ちょっとぼけてます

なお、7月9日に実施された研究会の第一回委員会がオンラインと対面の併用になりました。幸いにも、北浦・中井ともに出席できましたので、本年度の研究会の補助金は、協力会事務局長の北浦より研究会会長の柴原信彦先生に贈呈することができました。昨年度は銀行振り込みという味気のないものでしたので、一歩前進かなと考えております。上の写真はそのときのものです(左：柴原研究会会長，右：北浦)

オンラインで実施された長野大会に参加して

大阪府高等学校生物教育研究会協力会事務局

追手門学院大手前高等学校 北浦隆生

2021年8月6・7日に、日本生物教育会第75回全国大会(長野大会)がオンラインで開催されました(5日に全国理事会)。Webで参加費が2000円なのは参加者が少なくなって長野県の先生方には申し訳ないが仕方ないかもしれませんね。長野県の現地研修を楽しみにしていただけに残念な面もあります。

私事ですが、昨年教員免許状更新講習が軒並み中止になったために、今年バタバタで講習に通っているため、ちょうど、1日目の大会には参加できずに2日目から参加することになりました。

基調講演などは聴くことができませんで、心残りです(その後校園はYoutubeで公開されました)。ウェブ上で行われる研究発表は、事前に7分間の動画を準備し、ZOOM上画面共有で発表、3分間の質疑応答という形で実施されました。長野県の先生が座長(司会進行)を行い、技術担当と質疑応答を整理するベテランの共同作業で進められました。質疑応答はZOOMのQ&Aを使って実施されます。

発表されていた講演者はここ数年おなじみのメンバーでした。2年ぶりですが、懐かしい感じがあります。ICTを絡めた発表が多かったのはコロナの影響もあるのでしょうか。発表会場が1つだけだったので、選択の余地がなかったのは残念です。10時から4時まで昼食と一次休憩を含めて連続で参加しつづけるのは疲れしました。

来年の北海道は対面で、アルコール規制もない状態で実施されることを祈っています。ただ、遠くで参加できない先生にとっては、Webで中継することがありがたいので検討いただければいいですね。

協力会会員の福坂邦男先生・萱村善彦先生が、 春の叙勲を受けられました

大島会長の挨拶にもありましたように、春の叙勲で、協力会会員の福坂邦男先生と萱村善彦先生が、いずれも瑞宝小受章を授章されました。両先生の叙勲を心よりお慶び申し上げます。両先生のご挨拶の手紙をお送りし、ご挨拶をお願いしました。福坂先生からは別記のご寄稿をいただきました。萱村先生には、5月の「協力会だより」の発送に合わせて依頼させていただいたのですが、ご連絡もなく、昨年度は納入いただいた協力会費の納入もありませんでした。8月に再度お願いの手紙を送らせていただき、全事務局の辻村先生をはじめ数名の会員に相談させていただきました。いろいろと手を尽くしましたが現時点では連絡が取れません。ご健康で過ごされておられることを願っている状況です。

福坂先生のご挨拶は以下の通りです。

ご 挨 拶

福 坂 邦 男

会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私こと

この度はからずも、春の叙勲に際して受章の栄に浴しました。

この栄管はひとえに多年にわたる皆様のご指導とご支援の賜と深く感謝申し上げる次第でございます。今後も相変わらぬご交誼のほどをお願い申し上げます。

ところで、大阪府高等学校生物教育研究会と私の係わりが深くなったのは今から50年も前のことです。

1972(昭和47)年4月 府立摂津高等学校が開校しました。開校初年度の生物科の教員は和佐眞宏先生(当時20歳代)と私(当時30歳代)の2人でしたが、開校2年目の4月の人事異動によりベテランの松本豊先生(当時40歳代)が着任され生物科の陣容が整いました。さらに、その翌年、開校3年目の1974(昭和49)年度より生物教育研究会の事務局を摂津高校が担う事となり松本事務局長のもとチームワーク良く頑張ることになりました。

事務局が摂津高校に移ったこの年の夏は、生物教育研究会主催の「奄美大島採集見学会」が5泊6日の日程で実施されました。参加者は51名。事務局は全員参加し会員の皆さんと寝食共にする生活をしてその距離がうんと狭まったように感じたものです。

そして今から6年前のことになりますが、私が80歳の時です。

「協力会設立5周年 親睦交流の会」が、がんこ梅田本店で開催されました。定年退職後20年を経てどなた様とお会いできるか楽しみにしながら参加しました。出席者18名の内名前と顔が一致したのは自分を入れて4名程度。自ずと話しかけるお方が限られがちになり、座席が近い萱村善彦先生等と話が弾みました。解散時には再会を祈ってお別れしたままでしたが、この度の叙勲に際し、その萱村善彦先生と同時に受章することが実現して大変嬉しく存じております。

会員の皆様におかれましては、未だコロナ禍の収束の気配を感じられない状況であります。くれぐれもお身体ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

諸連絡

1. 会員登録（会費振り込み）をお願いします。

次の報告で今年度の会員登録者（会費振り込み済）をあげさせていただいております。会員登録をいただきましたみなさまには、研究会から贈呈いただいた今年度の会誌を同封しております(研究会から配布されるであろう賛助会員には同封していません)。

昨年度の会員で、今年度会費納入をされていない方には、本協力会だよりとともに振込用紙を送らせていただきました。2023年の全国大会時には研究会への補助も増やす必要があるものと考えております。よろしければ会費納入をお願いします。会費は正会員 3,000 円、賛助会員 2,000 円ですが、寄付を上乗せして振り込んでいただいても大歓迎です。

2. 令和2(2020)年『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』会員

(R3.8.27.現在、敬称略。令和3年度会費納入者名のみを示します)

(正会員) (記載順はアイウエオ順)

足立 堯	石崎 英男	井上 慎一	江坂 高志	大江 進	大島 みどり
奥本 隆	小畑 和人	加賀 友子	川崎 智郎	河添 純子	北浦 隆生
木村 進	河野 成孝	澄川 冬彦	竹林 隆昭	橘 淳治	田中 正視
辻本 昭信	富田 織江	中井 一郎	長尾 祐司	仲田 敏弘	中野 俊勝
平岡 誠志	廣瀬 祐司	福坂 邦男	古久保 俊子	牧野 修司	松田 仁志
安井 博司	山住 一郎	吉川 浩	和佐 眞宏	渡邊 勉治郎	

(以上 35 名)

(賛助会員)

幸川 由美子 柴原 信彦 中村 哲也

(以上 3 名)

3. 令和2(2020)年『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』役員

- ・会長……大島 みどり ・副会長……井上 慎一
- ・幹事……北浦 隆生, 中井 一郎, 橘 淳治
- ・賛助会員代表……柴原 信彦 (研究会会長)
- ・事務局 (事務局長……北浦 隆生, 会計……中井 一郎, 会計監査……橘 淳治)

事務局へのお問い合わせは、追手門学院大手前高等学校(06-6942-2235)北浦・中井
または、北浦 隆生 (586-0007 河内長野市松ヶ丘東町 1349-1)
中井 一郎 (545-0001 阿倍野区天王寺町北 3-4-15) まで。

4. 会員からの近況報告（到着順，敬称略）

この欄は、振込用紙やはがき等により連絡があったものを記載します。皆様もどうか一報ください。

- ・4月より、大阪市立新高小学校で、再任用校長として勤務しております。（柴原信彦＝研究会会長）
- ・我が家を二世帯住宅に建て替えて、次女のファミリーが同居してくれた今春からを、私の「第3の人生」として、いよいよライフワークと天が与えてくれた複数の仕事に意欲的に取り組んでいきます。ちなみに「第1の人生」は府立高校を退職するまで、その後の延べ20年間(近畿大学，地元市教委，専門学校に勤めた)を「第2の人生」としてしています。（中野俊勝）
- ・勝山高校は今年度末で閉校ですが、来年100周年式典を行う予定です。大阪わかば高校は開校3年目となる来年度(令和4年度)入試より「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」実施校となります。このような状況で、新たなミッションを楽しんでおります。農地を使った地域連携の実習(学校設定科目)も先生方と作っているところです。（幸川由美子＝研究会副会長）
- ・コロナ禍の下、なかなか皆様にもお目にかかれませんが、元気にしております。（澄川冬彦）
- ・非常勤とは言え、講師初体験で気楽ですが慣れません。美原高校で週参回時間勤務をしています。（仲田敏弘）
- ・元気に住職の勤めにはげんでいます。ジョギングで体を整え、月2～3回北摂の山歩きを楽しんでいます。いつまでの命かわかりませんが、上手に老いを迎えたいと思っています。（辻本昭信）
- ・いつもお世話になりありがとうございます。現在は水無瀬川周辺を散歩することを日課としております。（安井博司）
- ・立命館大学びわこくさつキャンパスの教職支援センターにおきまして、中高理科教員を学生達の指導をしております。日本国中から集まってくる学生達は郷土へ帰ってしまいますので、巣立ちの後は寂しい思いをいたしますが、また次の4回生で大忙しとなります。（加賀友子）

5. 協力会会則

新規に入会いただいた方もありますので、改めて現時点での会則を掲載させていただきます。

「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」会則

- | | |
|-----------|--|
| 名称 | 1 本会は「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」と称す。 |
| 目的 | 2 本会は、大阪府高等学校生物教育研究会（以下生物研究会と記す）の活動に協力・援助するとともに、会員相互の親睦をはかり、「生物」について研鑽することを目的とする。 |
| 事業 | 3 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。
(1) 生物研究会の活動に対する助成
(2) 見学・観察・研修会の開催（年1回程度の独自開催または生物研究会行事への参加） |

(3) 懇親会（総会）の開催

事務局 4 本会は、前条の事業を行うため、事務局を本会事務局長の自宅に、会計事務局を本会会計の自宅に置く。

会員 5 本会の趣旨に賛同した次の者を会員とする。

(1) 正会員（退職の生物研究会関係者）退職会員・名誉顧問・名誉会員

(2) 賛助会員（現役の生物研究会関係者）会長・副会長等

役員 6 本会に次の役員をおく。役員は総会で選出し、その任期は3年とする。

(1) 会長 1名

(2) 副会長 1名

(3) 幹事 若干名（事務・会計・会計監査も担当）

(4) 賛助会員代表 2名

会議 7 本会に次の会議を設ける。

(1) 総会（活動計画報告、決算等を行う。また会員相互の親睦を図る。）

(2) 役員会（会長が必要に応じて役員を招集し、会の運営に必要な事項を決める。）

会費 8 本会の会費は正会員については年間3,000円、賛助会員は2,000円とする。なお、寄付金は会費納入時または随時に受け入れる。

会則の改定 9 本会の会則の改定は、総会において審議し、その決定には出席者の3分の2以上の同意を要する。

(附則) 1. 本会の設立年月日は、2009年6月3日とする。

2. 本会則は、2009年6月3日より施行する。

3. 本会則は、2019年5月31日にその一部を改訂し、同日よりこれを施行する。

6. 研究会の行事

会則の第3条2項に、会の事業として「見学・観察・研修会の開催（年1回程度の独自開催または生物研究会行事への参加）」があげられています。コロナ禍のもと、協力会独自の活動ができない状況が続いていますが、研究会の活動は可能な範囲で実施されています（一部はオンライン開催）。その一部を紹介します。コロナ禍のもと、会場参加に制約がある場合もありますので、ぜひ研究会のHPをごらんのうえ、会場あるいはオンラインで参加してみてください。

・生徒生物研究発表会 11月23日(火・祝) 大阪市立自然史博物館 9:30～(詳細未定)

・会員研究発表会 令和4年1月1日28日(金) (場所・時間も含め詳細未定)

なお、研究会のHPは、<http://seiken.sub.jp/> です。協力会のページもあります（「協力会だより」以外は更新できていませんが）。

7. 日本生物教育会全国大会

2ページの記事にもありますように、日本生物教育会の第75回全国大会（長野大会）は先日フルのオン

ライン開催で実施されました。対面での開催と長野県の生物や自然に触れる機会を楽しみにされていた方もいらっしやっただかもしれませんが、開催に関わってこられた長野県の先生方のご苦勞と残念感はいかばかりだったかを推察すると、言葉もありません。来年度 2022 年は北海道大会となり、再来年度 2023 年はいよいよ大阪大会です。2023 年度につきましては、可能な限りのご参加と、一層のご支援をいただく必要があると思いますので、ご協力をお願いしたいと思います。北海道大会の詳細は、現時点では不明です。8 月上旬に現地で対面での大会になる予定です。来年の「協力会だより」では詳細が案内できるものと思います。再来年の大阪大会でのわかっている情報だけを掲載します。

・実施日 2023 年 8 月 9 日(水)～12 日(土)

9 日(水) 全国理事会

10 日(木) 総会, 口頭発表, ポスターセッション, 研究協議, 懇親会

11 日(金) 講演会, シンポジウム, 現地研修

12 日(土) 現地研修

・メイン会場 近畿大学東大阪キャンパス

大台ヶ原や大阪の海をテーマにした現地研修や各大学などでの実験研修など多彩な活動を企画中と聞いています。ぜひ強力なバックアップとご参加をお願いします。

コロナウイルス感染症 COVID-19 のデルタ型

協力会前事務局長の辻本先生から東京大学名誉教授でもと岐阜大学学長の黒木登志夫先生の CDC 内部文書という表題で送られているコロナウイルスのデルタ株に関する記事が紹介されました。京都大学の山中伸弥先生が配信されておられる「山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信」でもリンクされています。具体的には、<https://shard.toriaez.jp/q1541/045.pdf> から見ることができます。

この中で、アメリカ CDC の 2021 年 7 月時点でのコロナウイルス COVID-19(表記上は CoV-2)デルタ型についての結論の項目を紹介します。

・デルタ型はこれまでの CoV-2 とは違って、

感染力が高く、その基礎再生産数 (R_0) は 5～9 の間

より重症化の可能性が高い。

(ちなみに天然痘の R_0 値は 5.0、水疱瘡の R_0 値は 8.0 程度)

・現在使用中のワクチンのデルタ型の重症化予防効果は、>90%と有効である。

・ただし、ワクチンのデルタ型感染予防効果は、65～85%程度の有効性。

・このためデルタ型は、ワクチン接種者へのブレイクスルー感染と非接種者への感染を起こす。

・マスクやソーシャルディスタンスのような薬剤によらない予防策(Non pharmaceutical Intervention)が必須である。

CDC の内部文書は、この結論の論拠を科学的なデータで説明するものとなっているようです。ちなみに、基礎再生産数 R_0 とは、感染していないコミュニティに病原体が入ったときに、一人が何人に感染させるかの数値で、よく報道される実効再生産数 R_t (感染が起きているコミュニティに新たに病原体が入ったときに一人が何人に感染させるかの数値) とは別の値です。